

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042-769-8345
担当部課名	保健所	地域保健	課	母子保健企画
事務事業名	神経芽細胞腫検査事業		事業コード	12220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	12年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

母子保健法	神経芽細胞腫検査実施要綱
-------	--------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
神経芽細胞腫は乳児期に発生する小児ガンの一種であるが、早期に発見治療することで多くが治癒することから、尿検査により早期発見に努めることで乳幼児の健康の保持及び増進を図る。		市内に住所を有する満6か月児から原則として満8か月児までの乳児を対象に実施。	
		対象数	約6000人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
市で実施する4か月児健康診査時に「尿検査セット」を配布し、満6か月から満8か月未満の時期に検査を実施。また、受診者のうち必要に応じて精密検査を実施した ・対象者数 6,357人・受検者数 5,861人・受検率 92.9%		なし	
決算額		(5) 個別計画の概要	
歳入：県委託金	6,206,700円	計画名	
歳出：賃金	59,880円	計画年次	年度～年度
需用費	624,558円		
役務費	51,000円		
使用料及び賃借料	2,293,200円		

4 評価指標

指標名	検査の受診率		
指標式	受診者数 ÷ 対象者数 × 100		
指標設定の意図	受診率を算出することにより、検査の周知がどれだけ図られているかどうか算出する。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標		90	a 92	b 93	93
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	1,154	3,029	3,029	3,109
	人員・時間数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
	人件費	4,174	4,174	4,174	4,174
	その他経費	0	0	0	
	合計	0	5,328	7,203	7,283
特定財源		5,870	6,026	6,026	6,206

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 99.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{92.1}{93.0} \times 100 = 99.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	この事業の本来の趣旨からすると更なる受診率の上昇を期したい。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	神経芽細胞腫は早期発見・治療による治癒率が高いことからこの事業は乳児の健康な育成に大きく寄与している。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	県からの委託金により、4か月児健康検査時での検査容器の配布、ガンの早期発見・保護者へのメンタルケア・保健指導等に市が一括して係わることによる費用対効果は妥当である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	目的を達成するためには、市が実施している乳幼児健診において検査の有効性のPR、検査容器の配布等により一人でも多くの乳児が検査を受診できるよう今後も市が実施していくことが適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	現在、1次検査においては異常がない被検者には通知を出していないが、不通知による不安増幅の声もあり、検査結果通知の検討が必要であると思われる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	乳児期特有のガンの一種である神経芽細胞腫の早期発見を図ることを目的とするこの検査は、乳幼児のより健康な育成のために有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 神経芽細胞腫の早期発見治療の徹底を図るため、対象乳児がすべて検査を受けることとなるよう、本検査の意義と協力の必要性について周知徹底を図る余地がある。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 大半を占めている検査機器賃借料等、その他固定的な支出が多いため。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	県をはじめ横須賀、平塚、鎌倉、藤沢等14市町においても同様に実施されている。指標の資料がないため受診率の比較は不可。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	この神経芽細胞腫検査事業は、総合計画における「生涯にわたる健康づくりを進めます」の政策により、神経芽細胞腫の早期の発見や保健指導を行う乳児の健全な育成上大変意義ある事業である。今後も受診率の向上を図りながら充実させていきたい。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--